

玉野の美 和菓子で表現！ 地元の製菓が審査！

銘菓「玉どら」「極上プリン今昔とろん」「ひ^の之で」や、季節の果物を使った大福や、季節や行事を大切にしてお菓子作りなどで有名な「藤音庵^{ふじのねあん}」の甲斐^か宣^い亨^{のぶあき}さんが、みんなの作品を見に、宇野中に来てくださいました。

甲斐さんは、宇野中の卒業生つまりみんなの先輩です。旧校舎ではありませんが、みんなと同じように勉強に部活動に励んでいたそうです。

宇野中二年生は美術の授業で日本の美意識やおもてなしの文化を学び、玉野の魅力を発信しようと、季節感と遊び心のあるオリジナル和菓子を考えました。

甲斐さんは、美術の授業「四季をイメージしたオリジナル和菓子を作ろう」で制作したみんなの作品を時間をかけてじっくりと眺め、1つ1つ手にとっていろいろな方向から見たり、商品名やコンセプト、解説を記した紹介カードを読んだりして、真剣に向き合ってくださいました。



和菓子屋さんの立場ならではの、ありがたいアドバイスや、食べる人の気持ちになって作ることの大切さなど教えていただくことができ、とても勉強になりました。

そして、13作品に「藤音庵^{ふじのねあん}」さんからオリジナルのすてきな「賞」を出してくださいました。

- ・秋を感じるで賞
- ・美しいで賞
- ・美しくておいしいで賞
- ・お店で売れるで賞
- ・栗がリアルで賞
- ・最優秀賞
- ・上生菓子で賞
- ・作り手の想いが伝わるで賞
- ・夏を感じられるで賞
- ・発想がおもしろいで賞
- ・ボリュームがあっておいしそうで賞
- ・ユーモア賞
- ・わび・さびがあって良いで賞



また、アイデアや技法など評価のポイントを解説してくださり、仕事の魅力ややりがいなど、キャリア教育の視点からのお話しもいただき、和菓子への情熱に触れることができました。

甲斐さんは「どの作品も工夫されていて、クオリティが高いです。店頭にならんでいてもおかしくないすばらしいものもあります。僅差で審査に^{きんさ}もれた人も自信をもって、美術の授業に励んで欲しい。生活に美を取り入れることや、地元に興味をもつことを忘れないでください。」とおっしゃいました。甲斐さん、本当にありがとうございました。

2023. 1. 16(月)